村民だより

No. 388

平成9年　8月1日
東京都小笠原村役場
小笠原村父島字西町
電話　2－3111

平成9. 7. 1現在
住民基本台帳登録者数

世帯	1，246
父島	1，031
母島	215
人口	2，285
父島	1，863
母島	422
短期滞在者	
人口	226
父島	179
母島	47

6月の気象（父島）

平均気温	25．6℃
最高気温	30．1℃
最低気温	21．3℃
平均湿度	86％
月降水量	125．0mm

新民生委員の就任

七月一日付で、父島字奥村在住の赤間泰子さんが厚生大臣から民生委員の委嘱を受けられました。
小笠原小学校に永年勤務された経験を小笠原村の民生向上のために生かしていただけることを期待いたします。
また、父島字西町在住の小笠原愛作さん、母島字元地在住の小松哲人さんには継続して民生委員を務めていただいています。

〈民生委員〉（敬称略）

小笠原愛作　父島字西町
（二）二〇三三
小松哲人　母島字元地
（三）二一六七
赤間泰子　父島字奥村
（二）二一〇八

デイサービス研修事業の実施について

小笠原村では、今年度より二年後に開設する地域福祉センターの基本事業であるデイサービス事業の研修を始めます。
内容については、実際に都内の高齢者在宅サービスセンターにおいて在宅の虚弱、ねたきりのおとしよりの方に、入浴サービスなどの各種サービスを提供する体験実習を行います。参加費用は無料ですので、ぜひこの機会に参加してみてはいかがでしょうか。
旅費については、村が対象者の旅費の一部を補助します。
研修を希望される方や、詳しい内容を知りたい方は、村役場村民課までご連絡下さい。

問合せ先
村民課　☎（二）三一一三

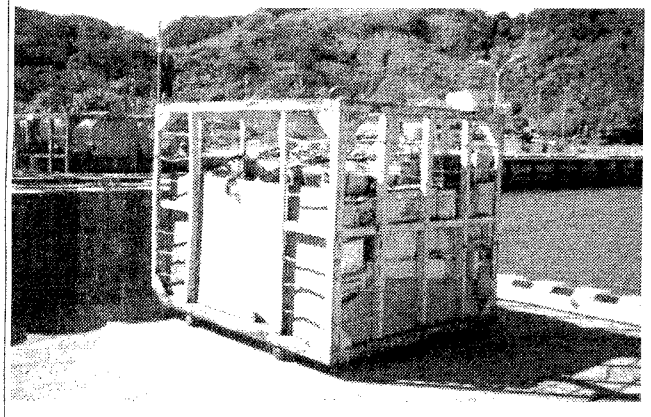
下水道には何でも流せません

前回、大量の廃油が流されたことにつづき、先月七月十四日朝、下水へ白色水性塗料らしきものが大量に流され、し尿処理に大変支障を来しました。
このようなことが度々繰り返されますと、小笠原の財産である海を汚染する原因になりますので、生活排水以外は絶対に流さないで下さい。
また、誤って雨水の排水が下水に接続している場合も改良をお願いいたします。
村民一人一人のご理解が不可欠ですので、ご協力をお願いいたします。

★生活排水とは、
・し尿
・風呂等の排水
・洗濯の排水
・調理の際の排水
（調理等の際に出た廃油は流さないで下さい。）

建設水道課上下水道係

廃棄バッテリーの回収にご協力を



去る七月九日、（株）共勝丸のご協力により、自動車・船舶用のバッテリー（蓄電池）約二．五トンの第二回目の島外搬出を行いました。（写真）
これらのバッテリーは、東京についた後、栃木県宇都宮市にあるバッテリーの処理業者に引き渡され、リサイクルされました。
当村では自動車に乗っているバッテリーは、ポンコツ車として処分依頼をする場合、一台につき一個は処理料金に含まれていますが、二個以上は乗せない約束になっています。
交換などによって古い廃棄バッテリーが発生しますが、バッテリーの中身は鉛で構成されており、環境汚染を防止するため洲崎に埋立て処分をせず、一定数量がまとまったら島外搬出を行い、リサイクルいたします。
バッテリーの回収方法は次のとおりです。

バッテリーの回収方法
・**通常のごみ収集では回収しません。**（ごみステーションには出さないで下さい。）
・廃棄する場合、役場又は母島支所窓口で申請が必要です。
・申請書に名前を記入し、保管場所に直接持ち込んでいただきます。
・液もれしないよう、キャップを確実に閉めて下さい。（ヒビが入っていたり、キャップを紛失した等、液もれしそうなものは、ガムテープでとめるなどして、液がもれないようにしてください。）
地球にやさしい環境づくりのため、使用済みバッテリーの回収にご協力ください。

問合せ先
産業観光課産業観光係
☎（二）三一一四
母島支所庶務係
☎（三）二一一一

平成九年度小笠原村防災訓練の実施について

本年度の防災訓練を九月一日（月）に実施することになりました。詳細につきましては、8月下旬の村民だより防災特集号をご覧下さい。

総務課総務係

小笠原村一時宿泊所入居者募集

《募集戸数》
一戸

《応募資格》
小笠原村に現に住所を有し、村民になってから二年以上経過し、村に債務がなく、永住を希望するもので、住宅に困窮しているもの。
（現在アパート等自ら居住するための住宅を借り受けている方は応募できません。）

《応募期間》
平成九年八月四日（月）～二十二日（金）

《入居時期》
平成九年十月一日（水）より

《入居期間》
入居日から一年以内。
（他に住宅を確保できるまでの間の一時的な使用。）

入居申込者が多数の時は公開抽選により入居者を選考します。

《申込み・問合せ先》
総務課総務係
☎（二）三一一一

村役場人事異動

退職　六月三十日付
俣野紀子（村民課住民係主査）
渋谷節子（村民課診療所係主査）

原付免許試験のお知らせ

一、実施日時
八月三日（日）
午前八時三十分から午前九時まで受付
※時間に遅れた方は受験できません。

二、場所
小笠原警察署　二階講堂

三、必要なもの
（一）住民票（本籍記載のもの）
（二）写真一枚
縦三・〇cm×横二・四cm
（三）黒色ボールペン
（四）受験手数料　七、三百円
内訳
受験料　一、六百円
免許交付料一、八百円
実技講習料三、九百円
※お釣りのないようにお願いいたします。

四、実技講習の実施
学科試験合格者に対し、実技講習を実施いたしますので、運転に適した服装で受験をお願いいたします。（サンダル不可）

五、問合せ先
警視庁小笠原警察署交通係
☎（二）二〇一〇
※受験希望の方はなるべく早めに申込みをお願いいたします。

夏の地域安全運動の実施について

小笠原警察署では、八月一日（金）から十日（日）までの十日間、小笠原防犯協会等関係団体の協力を得て、夏の地域安全運動を実施いたします。
この運動の重点は、
一、海・山における各種事故防止
二、少年の非行防止
三、盗難被害の防止
の三点です。

「安全で　明るく　住みよい　小笠原」

を目指して地域ぐるみの安全活動を展開していきますので、村民の皆様のご協力をお願いいたします。
※車を離れるときは、キーを必ず抜いて保管してください。
※家を留守にするときは、必ず鍵をかけてください。

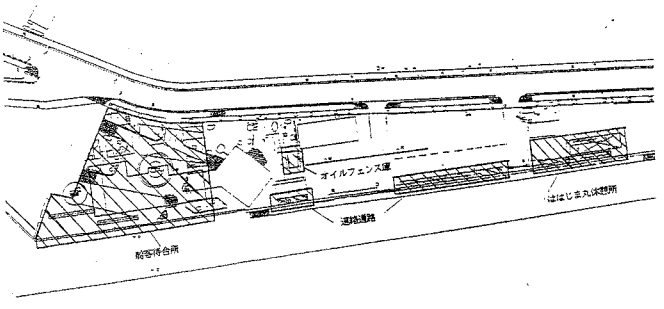
連絡先
小笠原警察署
小笠原防犯協会
☎（二）二〇一〇

二見港船客待合所工事について

日頃より村民の皆様方には港湾工事に深いご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。
さて、左記のとおり船客待合所及びははじま丸休憩所の解体新築工事を実施いたします。
本工事にともない施工範囲は図のようになります。村民の皆様の通行に支障し、大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご協力をお願いいたします。

記

工事名称
平成九年度二見港船客待合所及びははじま丸休憩所の解体新築その他工事
工事場所
二見桟橋
施工期間
平成九年七月下旬～
平成十年三月下旬
監督者
東京都港湾局東京港建設事務所施設整備課
☎〇三（三四七一）〇四四五
施工業者
五洋建設株式会社
☎（二）二三一三
株式会社精研
☎〇三（五六八九）二三五八
長井電気工業株式会社
☎〇三（三九一六）三四一一
連絡先
小笠原支庁港湾課
☎（二）二〇一五



小笠原高校公開講座のお知らせ

左記の要領で公開講座を実施いたしますので、ぜひご参加ください。

《パソコン中級講座》

日時
九月十三日（土）
写真画像の処理
二十日（土）
パソコンを使用したチラシ作り
二十七日（土）
インターネット入門

全三回
募集人数　二十名まで
実施内容
マッキントッシュのコンピューターを使用し、写真画像の処理、チラシ作り、インターネットに挑戦します。
（十三日初日には加工する写真をお持ちください。）
講師
林眞司
上條明弘
会場
小笠原高等学校視聴覚室
申込み受付
八月一日（金）～
九月五日（金）
月曜日から金曜日までの午前九時から午後四時までに電話でお申込みください。
定員を越える場合は抽選となります。
問合せ・申込み先
東京都立小笠原高等学校
☎（二）二三四六

小笠原のいま・昔（二）
駐留米軍宿舎（木造平屋家屋）

小笠原諸島は昭和四三年六月二十六日の日本返還まで米軍によって統治されていました。そのため返還当時島には多くの米軍施設が残っておりました。
返還当時に日本に引き渡された駐留米軍宿舎十三棟は昭和二十八年頃に米軍が下士官世帯用家屋として建設されたものといわれています。この家屋は国有財産となり小笠原総合事務所職員宿舎として暫くの間は利用されておりました。
しかし、家屋の老朽化が進んだことや村の都市整備等復興事業のために次第に姿を消してしまい当時の面影を多少なりと現在に止めているのが「十二号宿舎」と呼ばれている建物です。現小笠原小中学校プール脇、川沿いでNTT小笠原父島営業所との間にあり、「黄色いペンキも禿げた廃屋同様の木造平屋の建物」が残されております。築後四十四年も経過し、かつ、シロアリにも犯されているのでしかたありません。
昭和四十九年当時は、この宿舎に当時の小笠原総合事務所の郵政業務室長（郵便局長）が入居していました。なお、この宿舎は隣にあった十三号宿舎（現NTT建物入口の平らな場所にあり昭和五十三年に払い下げられ今はない）と共に大きなガジュマルの木に覆われ昼なお暗いジメジメした環境下にあったことなど想像できないでしょう。他の一号～十一号の下士官宿舎は職員宿舎として使われていました。当時の一号～三号宿舎は現在の小笠原総合庁舎（平成三年九月竣工）、四号宿舎は現在の総合事務所長宿舎（昭和五十六年二月竣工）、五号～十一号宿舎は現在の小笠原小中学校校庭の一部、駐輪場及びプールのある場所にありました。
特に当時の五号～十一号宿舎はシロアリにやられ廃屋同然でした。そこで昭和四十九年の校庭拡張工事に併せ、シロアリ退治と消火訓練の一石二鳥の活用をするため火を付け火災を起こした後、消防団員の手で燃え盛る宿舎に向けて放水消火訓練を実地に行ったのです。
当時の下士官宿舎一棟に国の職員が各部屋に一人づつ一家屋に二～三人づつで不自由な共同生活を送っていたことに思いを馳せ、現在の恵まれた生活と比較して見るのもいいでしょう。それができるのは十二号宿舎です。シロアリと老朽化でこの宿舎の余命も幾許もありません。特に先日の台風六号により、入口扉等が壊されて見るも無残な状態です。現存している今のうちに外観だけでも観察しては如何でしょう。

（玉木純雄）

小笠原写真クラブ「第七回写真展」開催

写真好きな小笠原在住の人たちが集まってできたアマチュア写真家によるクラブ写真展です。

題材は、風景・自然・水中ありと参加者各自が好きな小笠原のシーンだけでまとめました。あなたの知らない小笠原を見つけにきてください。

期間　八月三日（日）～九月十五日（月）
場所　小笠原ビジターセンター
主催　小笠原写真クラブ
連絡先　笠井　☎（二）三四二一

宇宙開発事業団 小笠原追跡所からのお知らせ

宇宙開発事業団では、八月にH－Ⅱロケット五号機により通信放送技術衛星（通称COMETS）を打ち上げます。打ち上げは、八月十八日（月）の十五時五十分～十七時三十分を予定しています。

なお、天候等により打ち上げの日が八月十九日以降に変更になる場合があります。

打ち上げ後のロケットは打ち上げから約四〇〇秒後に父島の北側の上空を通過して、約二十七分後にハワイ諸島直下の赤道上空で通信放送技術衛星を分離します。

小笠原追跡所にも八月二日から八月二十一日まで、約二十五名の打ち上げ関係者が訪れ、打ち上げ作業を行ないます。小笠原追跡所では、打ち上げ当日を除き見学が可能ですので、この機会に内部を見学されてみてはいかがでしょうか。

また、インターネットにある宇宙開発事業団のホームページでは、宇宙開発に関する各種の情報がご覧になれます。宇宙開発事業団ホームページは、http://www.nasda.go.jpです。

国土地理院VLBI観測局 観測開始 ～宇宙の電波で地球を測る～

村民の皆様のなかには、父島の洲崎に現れたパラボナアンテナをご覧になった方もいらしゃると思います。あれは私ども国土地理院のVLBI観測局です。

VLBI（Very Long Baselain Interferometry：超長基線電波干渉法）とは、宇宙の彼方にある電波星を遠く離れた二点間で同時に観測して、電波受信時刻の差から二点間の距離を正確に測定する技術です。プレート運動など地球科学の運動の研究や、測量の基準となる日本の測地座標系の高精度化のために利用されています。

国土地理院では、平成八年度から父島VLBI観測局の建設を進めてまいりましたが、このほど完成し来る八月二十六日（火）に観測を開始する運びとなりました。この観測では、父島観測局の直径十mのパラボナアンテナと、茨城県鹿島市にある二十六mパラボナアンテナを使い、両観測局間の距離をmm単位まで測ります。

国土地理院では、この日の観測開始にあわせて父島VLBI観測開始式を開催いたします。多数のご来場をお待ちしております。

一、日時　八月二十六日（火）午後六時三十分～午後八時
二、場所　父島字洲崎三十一番地　父島VLBI観測局（コペペ海岸の近くです）
三、内容　観測開始へのカウントダウン　小笠原太鼓の演奏　など
四、施設公開　式当日午後二時頃から予定しています。

ご自由にお立寄りください。

また、初観測で求められた父島観測局－鹿島観測局間の直線距離を“メートルまで”当てるクイズを行います。正解に近い人には記念品をお送りします。八月中旬から村内の各所に応募用紙と応募箱を設置しますのでどしどし応募ください。詳しくは、ポスターをご覧ください。

問合せ先
国土地理院測地部測地第二課
☎〇二九八（六四）四八〇一

☆父島村民会館図書室より

●もっと本を読む子どもに……四

おかあさんやおとうさんにたくさんの本を読んでもらった子は、みんな本が好きになります。本がとっても好きで、おもしろいということをよく知っているからでしょうか。

子どものときに「夜寝る前に本を読んでもらった」思い出はありませんか。親にとっても、「子どもに本を読んであげる」のは、とっておきの時間で、子育ての清涼剤になることでしょう。

動物や自然がいっぱいでてきたり、奇想天外のおもしろいお話、気持ちがきれいに洗われるようなすがすがしいお話、心が熱くなるようなやさしいお話……。

いつのまにか、大人も絵本やお話に夢中になってしまいます。

こんな気持ちを親子で共感できたら、とっても幸せです。

ぜひ、子ども図書室の本をたくさん読んであげてください。

五歳ぐらいから読んで あげられる本の中から……

「あさえとちいさいもうと」　筒井頼子・林明子
「あたしもびょうきになりたいな！」　ブランデンベルグ
「うさぎのみみはなぜながい」　北川民次
「海のおばけオーリー」　エッツ
「エルマーのぼうけん」　ガネット
「王さまと九人のきょうだい」　中国昔話
「おやすみみみずく」　ハッチンス
「かもさんおとおり」　マックロスキー
「木はいいなあ」　ユードリィ
「こいぬがうまれるよ」　ウェクスラー
「こぎつねコンとこだぬきポン」　松野正子
「しずくのぼうけん」　ブテンコ
「たんじょうび」　フィッシャー
「どうぶつえんのおいしゃさん」　降矢洋子
「はじめてのおるすばん」　しみずみちを
「ふゆねこさん」　ノッツ
「桃太郎」　松井直
「わっしょいわっしょいぶんぶんぶん」　かこさとし

※ほかにも、たくさんのおすすめできる本があります。

●雑誌・新聞の紹介

村民会館の一階、ロビーに雑誌・新聞のコーナーがあります。

新聞や最新の雑誌は、館内のソファでご覧になれます。古い雑誌は、一週間まで借りられます。〇月〇日号など明記して、借りる手続きをきちんとしてください。

（購入している雑誌・新聞）
「アサヒグラフ」「クロワッサン」「子供の科学」「Number」「文芸春秋」「スポーツ報知」「東京新聞」

（個人や団体などに寄贈していただいているもの）
「ダ・ヴィンチ」「小笠原新聞」「いながら本屋さん」「Newton」「村民だより」「小笠原海洋センターニュース」「メガプテラ」「保健所だより」「ボニン博物通信」「おがさわら図書館」

※ほか、いろいろあります。ぜひ、ご利用ください。

OWAナイトレクチャー 小笠原のイルカ・クジラの話

ハンドウイルカ、ハシナガイルカをはじめ、小笠原の近海に生息するイルカやクジラのお話をします。当協会研究員による、スライドや模型を使ったレクチャーです。御友人やお客様ともお誘い合せの上ご参加下さい。

場所　Bしっぷ二階会議室
日時　七月二十二・二十八日　八月四・十四・二十・二十六日　九月一日　午後七時三十分～八時三十分
費用　資料代として五百円（村民・会員無料）

また、小笠原のイルカやクジラ、風景の写真展と小笠原で採れた砂をイルカの形に仕上げたユニークな作品点をBしっぷ一階ホールで開催中です。（小笠原村観光協会と共催）

こちらは九月十五日まで（無休）午前八時～午後五時（昼休・正午～午後一時三十分）。無料です。

問合せ先　小笠原ホエールウォッチング協会　☎（二）三二一五

赤ちゃんアオウミガメ

海洋センターでは、今年もアオウミガメのかわいい赤ちゃんが誕生しています。

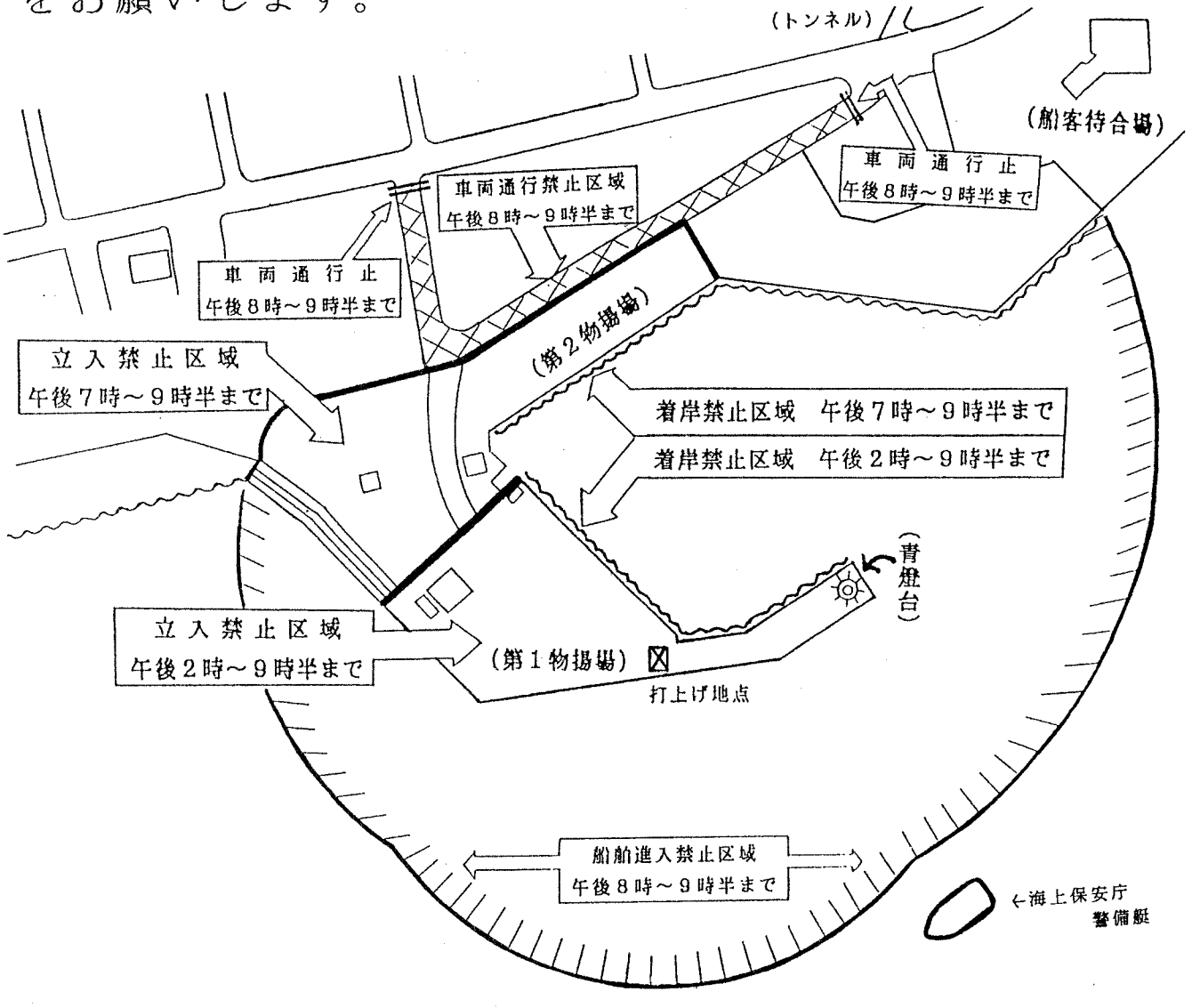
今年は、生け簀の改修工事で母ガメの産卵が遅れてしまい、ようやく稚ガメのふ化が始まりました。

ただ今、稚ガメの成長段階「卵、卵から顔をだした稚ガメ、水槽で泳ぐ稚ガメ」がご覧になれます。手のひらにのるくらい小さいウミガメの赤ちゃんは、とてもかわいいです。見学ご希望の方は、お気軽にスタッフに声をかけてください。

問合せ先　小笠原海洋センター　☎（二）二八三〇

花火大会の開催に伴う車両通行止、立入禁止区域、船舶進入禁止区域及び着岸禁止区域の設定について

小笠原サマーフェスティバル実行委員会では、８月９日（土）二見港第一物揚場で花火の打上げを行います。打上げ時間は、午後８時30分から９時までの30分間ですが、この間、危険防止を図るため下図のように車両通行止、立入禁止区域、船舶進入禁止区域及び着岸禁止区域を設定します。皆様方のご理解とご協力をお願いします。



詳しいお問合せは、

＊小笠原警察署　　ＴＥＬ２－２０１０

＊小笠原サマーフェスティバル実行委員会

（事務局　商工会）ＴＥＬ２－２６６６　まで